

# 家族向け本格参入

## ディア・ライフ 不動産大手と共同

### 分譲マンション

ディア・ライフはファミリー向けの分譲マンション事業に本格参入する。不動産大手と共同事業体（JV）を組み、年間2-3棟の建設を目指す。東証1部への市場変更で向上した信用力や資金調達力を生かし、最大で事業規模100億円程度の物件を手がける構想を描く。東京圏で人気のあるエリアに絞り、自社の強みである土地情報の収集力と大手不動産のブランド力を掛け合わせて事業規模を拡大する。

「大手不動産や電鉄系・商社系の不動産と組みながら事業を拡大していききたい。（東証1部上場で）JVの相手も組みやすくなる」



（阿部幸広社長）。同社は2004年の設立から3年足らずで東証マザーズに株式上場を果たし、今年8月に東証1部に昇格した。同社の借り入れ条件も良くなり、土地も取得しやすくなる」（同）。9月から設計担当者を増員。事業拡大に備える。

これまでも単発で分譲マンションを手がけた実績があるが、事

業の主力は一貫して単身者やDINKS（子どもがいない共働き世帯）向けのコンパクトマンションに据えてきた。ファミリー向けの分譲マンションは計画着手から売却までの期間が長く、リスクも伴うものの、東京圏でも人気のエリアは物件価格の上昇が続き、旺盛な需要が見込める。

分譲マンション以外にも都心部のオフィスビルの用途変更を伴う再生（コンバージョン）など事業機会を広げていく考え。11月に発表予定の中期経営計画にも盛り込む見通しだ。

▲同社が手がける単身者・DINKS向けマンション